

本物人間の見分け方

千葉 眞

富田

裕之



の掃除の現場にうかがうようになりました。

新宿駅前の定例会でいつもお見かけしたのは、いちばん汚い場所を、誰より早く、真剣に取り組まれる相談役のお姿でした。

食事をご一緒した際は、料理が最初から盛られていなかったかのようにきれいに食事をされ、店の方が片付けやすいように食器をまとめられます。

そうした善行の理由や解説がなされるわけではありません。「なぜ、相談役はいつもそうされるのだろう」考えて考えて、自ら気づいていく。その時間が、私の心の糧となりました。

しかし、いざ自分で同じことをやろうとすると、3日と続けるのが困難なことに気づきます。「今

日は天気が悪いから」「出張で疲れたから、今日は休もう」などと、いい訳がわいてきます。休んでも、とがめる人はいません。

王陽明の言葉に「山中の賊を破るは易く心中の賊を破るは難し」とあります。相談役は、何度心中の賊を倒してこられたのか。底知れぬ相談役の偉大さを痛感しました。

今も便器の磨き残した汚れが自分の心のアカのように見えて、終わりが見えません。そんな時はいつも、今も相談役の姿を思い浮かべます。まだ心中の賊に全勝とはなりません。遠き相談役の背中を目標にコツコツ進んでまいります。

「言っていることと、やっていることをどれだけ一致させるか」

鍵山相談役が掃除に取り組み姿を初めて目にしたとき、脳裏に浮かんだのがこの言葉です。編集者として2013年から相談役の連載を担当する縁をいただき、以来池尻大橋のオフィスや各地

楽しい目標は 人生最高の薬

石川県

山口 やまぐち

健次 けんじ



ぎ、毎月学校掃除に取り組もうと、町内の校長・教頭先生にトイレ掃除のお願いにいきましました。

掃除のあと、先生方は生徒の感動の感想文を読んで、掃除の大切さをわかっていただくようで、これをくりかえしました。

先生が異動されると、赴任先にもお願いに行き、そのうち掃除を経験した先生が増えてきて加速しました。現在の教育長は、最初の学校の教頭先生です。

とにかく、みなで一所懸命学校を探しました。小学校6回を先行し、中学校へと広げ、初年度から小・中学校に毎月行けるようになりました。断られることが心配でしたが、鍵山相談役の講演を聞かれた校長先生が多くおられ、「鍵山さんの掃除です」と協力的で、なかには卒業式・

入学式にも呼んでいただいたりして、大きな後押しをいただきました。

活動は、小・中学校計13校を中心に毎月、時間は1時間半と2時間の2タイプ。会員20名のうち7割程度は参加し、生徒は50名程度お願いします。生徒の感動の感想文を読むたびに、続けてきてよかったと思います。

これ以外に、各地の会に参加して素晴らしい方々と出会ったことも大きな財産です。また妻との毎日の街頭清掃は、目標一万回の折り返し点を過ぎ、あと15年でゴールを目指します。

楽しい目標は、人生で最高の薬になります。この記念誌を、過去一諸に活動した方のご家族にもお届けしたいと思います。

2005年、会社経営に悩んでいた前代表南雅夫氏ら5人が、「かが能美掃除に学ぶ会」を発足しました。私は鍵山相談役の本を読んだ近所の街頭清掃を始めましたが、相談役にこの会を紹介されて、翌年参加しました。

2012年私が代表を引き継

ライフテーマ「ゴミの資源化」

東京都

鈴木 武^{すずき たけし}



ゴミ問題の大きな壁は、①産廃業者との関係 ②ボトムアップからの挑戦 ③意識改革でした。

特に、産廃業者との関係には神経を使いました。私の心境は誰からも理解されませんでした。が、日々全力で取り組みました。

モットーは「1、職場にゴミ箱はありません 2、会社からゴミをだしません 3、ゴミという言葉は使いません」です。

社外に対しては、リサイクルルートを見直し、多くの新ルートを開発しました。社内では、各職場のゴミ箱撤去から始めました。

皆さまに説得とお願いをくり返し、まさに「二日一センチ」、誰も気づかない、誰も傷つけない工夫と知恵の連続でした。

これらの活動を進めた結果、2

年でゴミの95%資源化に奇跡的に成功し、ゴミ処理費も大幅に削減しました。

定年後は、中田宏市長の横浜市ゴミ削減運動に参画し、10年間でゴミ30%削減目標を、5年前倒しで達成しました。地元でも活動し、20年間でビン・缶などの資源回収は11万個以上となり、地域美化とエネルギー節約に貢献しました。

2016年、鍵山さん提唱の東京五輪に向けた、羽田空港から都心に向かう国道沿いの清掃活動「羽田街道おもてなし清掃」を始め、続けています。(写真)

今後も、日本の「おもてなしの心」を守り、「美しい地球を子どもたちのために」ガンバリます。

(153 0053 東京都目黒区五本木2-50-3)

53歳のとき、窓際平社員の私はゴミ処理担当を志願しました。会社は、従業員約1万人、売上年間約6千億円、ゴミ処理費約2億円と大規模でした。

私の運命を

劇的に変えた掃除

大阪府

宇田うだ

正徳まさのり



2007年42歳のときです。電力会社の工事課長だった私は、労働災害防止のため4S活動に取り組んでいましたが、職場で賛同が得られず悩んでいました。

そんなときに、同僚に大阪掃除に学ぶ会に誘われ参加しました。そのときの私は、人の嫌がるトイレ

の便器を素手で掃除すること
で、「逃げない心」に挑戦しようと
したのだと思います。トイレ掃除
に参加を重ねるうちに私が変わった
たのでしょうか、驚いたことに、
職場で4Sに反対していた人が、
率先して取り組んでくれるようにな
ったのです。

その後も、大谷育弘先生の大阪
便教会に参加しました。そこで出
逢った和歌山県橋本市の川島渚さ
んに「橋本掃除に学ぶ会」に誘って
いただき、そこで鍵山秀三郎先生
にお会いしました。

2011年3月東日本大震災
が発生。川島さんの影響で私もポ
ランテアをしようとして、10月から
大阪便教会主催の「復興地に学ぶ
会」に参加しました。「企業の役割
は、仕事を通じて人材の育成」と

考えていた私にとって、教育に携
わっている先生方との交流は刺激
的でした。その後寺田一清先生の
読書会に通い、小学校教育の重要
性を教示頂きました。

そのような活動をしているう
ちに、私は小学校で働きたいとい
う思いが募り始めました。大阪教
育大学二部を受験、寺田先生に激
励されながら教員免許を取得し、
2015年3月退職。49歳で小学
校教師に転職しました。わずか7
年間で私の運命は劇的に変わりま
した。

児童や保護者との関係に悩む
こともありませんが、後悔はありま
せん。掃除道と出会っていないけれ
ば、まったく違う人生を歩んでい
たと思う今日このころです。

私を大変身させた トイレ掃除

広島県

村上 むらかみ

和弘 かずひろ



毎朝5時から学校のトイレを掃除しています。朝練習の生徒が使ってくれるので、彼らの期待を裏切れなくなりました。(笑)

夢中でトイレ掃除をすると、心身がリセットして一日を始められます。続けていないとすぐに

ダメな自分が出てくるので、それ以前の自分には戻らないようにと自分と約束しました。

2005年、テニス部部长だった私は、生徒指導でトラブルを起こしました。謹慎中に出逢ったのが、鍵山様の本でした。わらにもずがる思いで、1月2日東京行き夜行バスにとび乗り、イエローハット本社に行きました。鍵山様は不在でしたが、トイレ掃除中の社員さんに、ご指導いただきました。その後朝食、そして役員宅ではお風呂を用意いただきました。私は自分の大きな間違いに気づき、湯船の中で泣きました。

帰宅翌日、学校のトイレ掃除を始めました。後日大阪で鍵山様にお会いした感動で、毎年盆と新年に上京し、ご縁のトイレを

掃除するようになりました。

かつて一緒にトイレ掃除をした生徒がいます。荒れていた彼はトイレ掃除をして見事に立ち直り、卒業時には初の校長賞を受賞しました。彼が人生に迷ったとき、私が掃除を続けていれば、自分を奮い立たすのではないかと思う気持ちがあります。

月に一度、先生、生徒と一緒にトイレ掃除をしています。調査書でPRしたいから参加している者もいるようですが、「掃除に学ぶんだよ」と話すと、「分かりました」という生徒が増えてきました。ある教員は、トイレ掃除の教育的効果を論文発表してくれました。これからもトイレ掃除とともに歩んでいきます。

(〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南8-21-11)

人生を変えた「そうじ」の力

群馬県

小早 祥一郎
こはや しょういちろう



2003年大企業を退職し独立。しかし仕事は不安定で、五里霧中の日々でした。出会った師匠に、「理念」がないと指摘され、2年かけて人生の目的を明確にしました。

知人の「小早君、掃除をすると

良いよ。人生も変わるよ」との言葉は、それまで掃除などしたことのない私の胸に突き刺さりました。翌朝いきなりトイレ掃除と近隣のゴミ拾いを始めました。道具もやり方も我流でしたが、何か変わりそうな予感がありました。

道路上の大量のゴミを見ても、以前の私なら「誰がやったんだ」と憤って、通り過ぎていました。しかし、自分でゴミの処理をしていると、「誰がやったかは関係ない。今自分が処理しなければ」という気持ちが湧いてきます。

つまり、問題の責任を追及したり批判するのではなく、問題解決の原動力は自分にあるという姿勢です。これは、以前の自分にはない心持ちでした。

その後、トイレ掃除を教えても

らうなかで、ますます掃除の持つ力を確信しました。そして、これを企業組織の変革に応用すれば面白いことが起こるはずだと思えました。

2005年、そうじを通じた組織風土改革のお手伝いをする株式会社「そうじの力」を創業。

17年間で月刊広報誌「そうじの力だより」201号発行、支援50社、講演・研修含め約500社を支援させていただき、最高に充実した日々を送っています。

そうじのきっかけを与えてくれた人も、その後そうじを指導してくれた人も、いずれも鍵山先生の薫陶を受けた方々でした。これからも、トイレそうじとゴミ拾いを続けていきます。

(370-0078 群馬県高崎市上小島町307-1)

「凡事徹底」との出会い

三重県 伊東 俊一



2000年、知人に誘われて三重掃除に学ぶ会の伊勢大会のお手伝いに参加しました。鍵山秀三郎著『凡事徹底』を少し前に読んで興味もあつたので、修養団の駐車場係や大会に参加しました。

内宮前の街頭清掃では、私は歩道や側溝を掃除していました。参加者が通りすがりに、グレーチングを開け、はいつくばるようには掃除をしている方に声を掛けていました。そこで「この方が鍵山さんか!」と。これが鍵山秀三郎師との出会いでした。

これがきっかけで、三重掃除に学ぶ会に入会しました。日本を美しくする会全国大会では、2001年の第2回高知竜馬大会や、2002年の第3回伊勢神宮大会にも参加して、全国の同志に知己を得ました。

伊勢大会のときは、会議を何度も重ね準備に奔走して当日を迎えました。私は大会前日の総合司会を任せられ、翌日は神宮会館の大讲堂で正装して臨みました。講演

会や懇親会、トイレ清掃、そして皇學館大学講堂での閉会式は大変盛り上がり、最後の全員による「故郷」の合唱では涙しました。

修養団の中山靖雄先生に、宿泊者の忘れ物などがなく部屋を見てきてくださいと言われて、大会幹部の部屋を見回りました。その中で一番きれいに片づいていたのが鍵山相談役の部屋でした!

話には聞いていましたが、本当に寝たのか? いや使ったのかと思うほどきれいでした。掃除だけではなく、普段の生活も徹底されていることに驚きました。まさに「凡事徹底」でした。このことに感動して、自分も少しでも近づきたいと、掃除に学ぶ活動にはまり、現在に至ります。

生徒と一緒に言う掃除

兵庫県

木田 重果



中学校に勤務していたころの話です。毎日15分の掃除の時間に、自分は掃除をせず、生徒に「清掃指導」をしていました。

2008年ころ、西宮掃除に学ぶ会に参加し始めました。トイレ掃除をすると、さまざまな思いが整理され、爽快感を感じて心

地よかったです。数年後には生徒とこの素敵な時間を共有したいと思うようになりました。

それまでは、掃除をしていない生徒に目が向いていました。「一緒に言う掃除」を始めると、懸命に取り組む生徒の姿や表情を見ようになりました。人は、誰かのために力を尽くしているときが最も美しくなります。「すごいね」「ありがとう」こんな言葉が自然と出てきます。

2014年兵庫便教会を始め、7〜8名で学校のトイレ掃除をこれまで41回行ないました。私が「一緒に言う掃除」に感じるよさは、次の4点です。

- ・ どの子にもでき、また深めることのできる活動。
- ・ どの子も評価でき、感謝を伝え

ることができ活動。

・ 人のために自分の力を使うことが心地よく、子どもに成就感を感じさせることができる活動。

・ 子どもが最も美しくなる姿や表情を見ることができ活動。

掃除の時間が終わろうとしていたとき、気になる汚れを見つけました。それは手の届かない場所であり、どうしようかと思っていると、横に立っていた生徒の一人と自然に会話しました。

生徒 「気になりますね」

私 「そうだね」

生徒 「やりますか」

私 「よし、やろう」

忘れられない瞬間です。私は、この会話を思い出すたびに「やっ

ておいてよかった」と感じます。

(665-0034兵庫県宝塚市小林5丁目3-43 412)